広報 とみさと

8/15

No.797

平成28年
2016.August

おもな内容

資源回収運動に参加しましょう　ほか
ごみの減量化にご協力を …… 2
生活習慣病予防セミナー　ほか
ヘルシーライフー増刊号ー …… 3
「不審な請求　プリペイドカードの番号は教えないで」の巻
消費生活相談コラム …… 3
スイカオーナー制度収穫体験
とみさとプラザ …… 3
平成28年度芸術鑑賞事業　ほか
とみさと情報ネット …… 4

発行●富里市　編集●富里市総務部秘書広報課　〒286-0292　千葉県富里市七栄652番地1　TEL●0476(93)1111(代)　FAX●0476(93)9954　発行日●8月15日(毎月2回発行)
●富里市ホームページアドレス　http://www.city.tomisato.lg.jp/　●電子メールアドレス　info@city.tomisato.lg.jp

8月15日は終戦記念日
平和への願いを　次世代へ受け継ぐために

問 秘書広報課秘書広報班　☎(93)1112

戦後71年を迎え、戦争の記憶が風化されつつある今、平和に暮らしている今の生活がどんなに大切なものかを感じ、人の心に悲しみと苦しみを与えた戦争の悲惨さを多くの人に語り継がなくてはなりません。

市では、次世代を担う子どもたちに平和の大切さを考えてもらうために、「平和を考える作文コンクール」を開催しています。第5回の昨年度は、中学生を対象に開催しました。市長賞を受賞した鈴木貴良（たから）さんの作品を掲載します。

第5回平和を考える
作文コンクール

市長賞受賞作品
世界の平和

鈴木貴良（たから）さん
富里中学校2年

「平和」　多分みんなは、この言葉を平気で軽い気持ちで使っているのだろう。でも本当は、平和はとても難しくて貴いものであると思います。私自身、この作文を書くまで、戦争について深く考えたことはありませんでした。そこで、もっと知ろうと思い、まずは広島などに落とされた原子爆弾について調べようと思いました。でも、いざ調べようと思うと急にこわくなってきました。もしも、死んだ人の写真が出てきたら…。とか、こわい映像だったらどうしよう…。とか。とにかくこわくてこわくて、自分でもびっくりしました。でも知らなきゃ、伝えていかなきゃと思い、今度こそ調べることにしました。

八月六日、よく晴れた日だったそうです。午前八時十五分。世界で初めて原子爆弾が落とされました。一瞬で何万人もが亡くなり、家が吹き飛び、まるで地獄のようだったそうです。広島には「死の川」という川があります。熱風や火の中を、水を求め必至で逃げてきて、川の中に飛びこんで、そしてそこで、たくさんの人が亡くなりました。川の中は、すでに火などで熱湯になっていたし、たくさんの虫がわいていたりで、飲めるような水ではなかったそうです。そして広島では約20万人もの人が亡くなりました。

こんな状況を考えたくもなかったし、想像もできません。ただ一つ、戦争は人々から笑顔をうばい、そして辛くて悲しくて、もう言葉では表せないような感情になると思います。私は、自分のお母さんが死んだという事を考えるだけで泣いてしまうのに、いっきに家族や友達を失ってしまったら、もう私はおかしくなってしまうと思いました。

戦争のことを調べていくと、いろんな疑問がわきました。そもそも、どうしてこんな戦争をしなければいけなかったのか。そして一番、思うことは戦争で何を得たのかという事。多くの人々が苦しみ、亡くなり、親や子そして家を失い…。戦争で何か良い事なんて一つもないと思います。なのに世界では、まだ戦争をしています。私はその意味がわかりません。どうして同じ過ちをくり返すのでしょうか。どうか誰か気づいてほしい。互いに宗教や文化を理解し認め合えばきっと良い方向にむかえると思います。戦争を知らない私たちだからこそ、知らなければいけないし、伝えていかなければいけないと思います。

この作文を書き終わり一番思うことは、「世界の平和」ただ一つです。世界の人々が安全で安心して笑顔で暮らせるように、まずは身近なことから、平和を広げていきたいです。

参加者募集

とみさと協働塾　地域づくりスキルアップ講座

実践をとおしたスキルの習得と地域の仲間づくりを目指して

この講座は、市民活動に必要な基本スキルの習得と、市民活動という共通意識を持った受講者同士が顔見知りになることで、地域づくりの活性化につなげることを目標に開催しています。

全5回の連続講座で、講座修了者（4回以上の受講）は、「まちづくりのサポーター」として活動する機会もあります。

■**場所**　とみさと市民活動サポートセンター（すこやかセンター内）ほか
■**講師**　中村　正明さん（まちづくりプロデューサー）
■**費用**　無料
■**定員**　20人
■**対象**　市内でまちづくりに関する活動をしてみたい人・実践している人
※原則、昨年度未受講で、全ての日程に参加が見込める人

■**申込方法**　9月15日（木）までに、電話、FAX、電子メールのいずれかで申込み
※FAXまたは電子メールで申し込む場合、【スキルアップ講座、氏名、住所、電話番号、年齢、団体名（所属先のある場合のみ）】を明記し、送信してください。
問・申込先
市民活動推進課
市民協働推進班
☎(93)1117
FAX(93)9954
✉kyodo@city.tomisato.lg.jp

1	10月1日（土） 午前10時～午後4時	市民活動について 実践者のお話、市民活動の現場探訪
2	10月20日（木） 午後1時30分～4時30分	会議のポイント ファシリテーション、ワークショップなど
3	11月10日（木） 午後1時30分～4時30分	企画書のポイント コンセプト、プレゼンテーションなど
4	12月8日（木） 午後1時30分～4時30分	情報発信のポイント（公開講座） 広報、プレスリリースなど
5	平成29年1月19日（木） 午後1時30分～4時30分	講座のまとめ 私たちのまちづくり宣言

特別公開

旧鈴木やる家（高野）に遺された古い薬袋

今では懐かしくなってしまった「置き薬」。

現在のように交通や通信の速度が速くない時代に、地方の情報を詳しく知る手だてはありませんでした。そんな折りに「薬の行商」がもたらす情報には十分な価値があり、また外の世界を知るための数少ない機会でもありました。

薬という必要不可欠な物資は「情報」という商品も含めて購入していたのかもしれません。

そんなどこか長閑（のどか）な光景が50～60年前には、この富里でも見られていたのでしょう。

古き時代の薬袋をご覧になり、歴史に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

■**場所**　市立図書館1階展示スペース
問生涯学習課文化資源活用室
☎(93)7641